



ガン検診車

Q 静岡県藤枝市では、簡単な血液検査によるピロリ菌胃がんリスク判定を行っている。がんを発見する検査ではないが、以下の3つの利点を挙げている。1つ、健康な人は精密検査を受けなくて済み、身体的・経済的な負担が軽減される。2つ、がんになる危険因子を早期に見つけ、除菌などでがんを予防でき、

A 将来の医療費を削減できる。3つ、リスク群を絞り込むことで、精密検査を効率化し、がんの早期発見につなげる。この血液検査リスク判定の導入を検討してはどうか。
保健福祉部長 行政レベルでの判断は現時点ではできませんが、医師会をはじめ専門家の判断と協力を得て、検討を進めます。

Q 市民の命を維持するためにも、一歩ずつ取り組みを前進させていくことが重要であるが今後、当局の方向性はどうか。
保健福祉部長 検討

A 委員会で検討します。
●環境問題について

Q 成東総合運動公園から農協方面の五差路付近の雑木林の中で、シラサギ（保護鳥）等が増加し、鳥の死骸が、日

によって2羽、5羽とある。日中も悪臭が酷く、夜には鳴き声が聞こえるとか、鳥インフルエンザは大丈夫なのか等の声があった。現在までの市の取組み状況はどうか。
経済環境部長 平成

16年から、成東地区の木戸の海岸地域で、大量のシラサギによる、糞、悪臭、騒音という問題が始まっております。その後、木戸川を挟んだ小松地域に移り、そこから各地に、散らばっていたのが現状です。
南郷小学校の正面の山

にも集まり始め、平成22年度に糞、騒音、悪臭等の被害の相談が地元からありました。
過去の教訓で、千葉県や千葉県野鳥の会の指導を受け、対応した結果、南郷小学校の前から移動しました。

Q 木を伐採しても、移動していくのでは解決にはならない。今後、どのように解決方向にもっていくのか。
経済環境部長 巢作

A りが始まる前に山林等をきれいにする必要があり、土地所有者の方々に進んで山林の整備を行っていただくことが、一番の方策だと考えます。
Q 鳥インフルエンザ

等の調査について、H7N9型の人への感染が確認されたのは初めてで、世界的大流行となる人から人への感染は、現在は確認されていないが、現在、本市で鳥を飼育している軒数はどれくらいなのか。

A 経済環境部長 現在、市内では、5軒の養鶏農家が合計19万2千羽を飼育しているのは確認していますが、10羽、20羽を飼っているような農家の数は、把握していません。
Q 市は、鳥インフル

A エンザの問題があつてから、何らかのアプローチを行ったのか。
経済環境部長 現在

のところ行っています。養鶏農家から、死亡率の上昇等の報告があった場合、県の家畜保健所の方に報告し、簡易検査を行い、異常があった場合は、精密な検査を行う形になります。
Q 平成22年3月に、

新型インフルエンザ対策行動計画が施行されたが、所管の保健福祉部だけではなく、各機関との情報交換は、どうなっているか。
保健福祉部長 新型インフルエンザ等対策特別措置法が成立し、市町村、県、国の対応が

明確になりました。本市では、3月に対策本部の条例を制定し、5月1日、2日の2日間、係長以上に對し、国からの緊急事態宣言を受け、市が対応すべき対策本部のあり方について説明をしました。
●市民サービスについて

Q 平成23年3月定例議会において、本庁舎前の階段やスロープに、高齢者や体の不自由な方への手すりによる安全確保の質問を行い、高齢者、障害者及び妊婦の皆様方の専用の入り口が、4月より活用されている。

また、新たに障害者専用の駐車場が設置されたが、誰もが見てすぐわかる身障者優先のマーク・標識を各公共施設等に設置してはどうか。
総務部長 千葉県

福祉のまちづくり条例等の中で、公益的施設等に駐車場を設ける場合、車椅子使用者駐車場を1以上設けることとなっています。
現在、市では、条例に